



沢島

ひでたか通信 Vol.28

渋谷区議会公明党がワクチンの円滑接種を強力に推進！

**高齢者デジタルバイド解消事業を強化！
学校トイレへの生理用品設置を提案！**

第2回定例会・区議会公明党の代表質問より

令和3年6月3日(趣意)

ワクチン接種

予約枠の増加について

質問 昨年7月、公明党は海外ワクチンの確保を強く訴えました。ここから、政府と海外製薬メーカーの交渉が一気に加速し、2月17日から医療従事者への接種が始まりました。

また、区議会公明党では、5月21日、区長へワクチン接種に関する「緊急要望」を提出させていたいただきました。

この事業の鍵はご存知の通り「予約枠」をいかに増やすかです。それは「打ち手」(ワクチン接種に関わる医療従事者)を如何にして増やすかに尽きます。

「打ち手」の増強について区長に伺います。

答弁 (区長) 個別医療機関での接種については現在、90カ所で接種が可能となっています。今後、集団接種会場での打ち手の増員や、日中働いている人への配慮から接種時間を延長するなど多様な方法を検討し、接種体制の強化を図ってまいります。

接種状況の見える化について

質問 瞬時に埋まった予約枠に混乱がありました。予約がとれないことが「ワクチンが無くなった」との誤認されたことが、不安をさらに増長されたと感じています。

ワクチン接種可能回数と予約枠数、また予約済み数、接種率についても見える化してはいかがでしょうか。

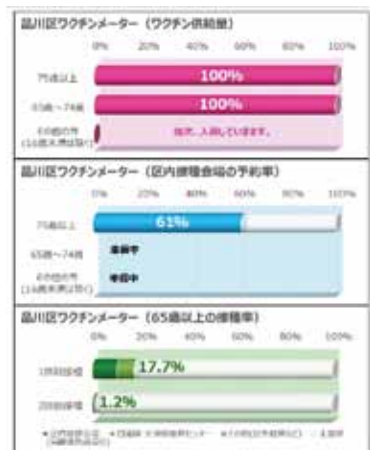
答弁 (区長) 議員ご提案の通り、積極的な情報周知は大変重要であると考えています。接種率等の情報も含めて引き続き最新の情報を速やかにお知らせしていきます。

また、現在、各医療機関の予約状況を一览できる情報を公開し、日々更新して「見える化」を進めています。

さらに、6月1日からは、基礎疾患を有する方等の自己申告にLINEを活用し



ておりますが、引き続きLINEをはじめとしたSNSを運用して必要な情報を適時適切に発信してまいります。



品川区ホームページより

在宅訪問接種について

質問 一定の困難な条件で予約できない方や、世帯へ、デイサービス等「通所介護サービス施設」での個別接種や、在宅訪問接種の実現について区長のご決断のほどをお聞かせください。

答弁 (区長) 議員ご指摘の通り、在宅で介護されている高齢者や、デイサービス利用者で接種会場や医療機関へ行くことが困難な高齢者に対する接種は、大きな課題であると認識しています。

医療機関などによる訪問接種を行うため、引き続き渋谷区医師会とも協議を進めながら実現に向けて取り組んでまいります。



障がい者通所施設での個別接種について

質問 障がい者通所施設においても通い慣れた施設での個別接種を実施してください。施設の職員の協力によって障がいの特性に配慮した対応が期待できます。

答弁 (区長) 議員ご提言のように施設の職員の協力を得ながら接種することで、安心感が高まるという効果も期待できます。

障がい者の特性に応じ、施設での個別接種など必要な対応を図ってまいります。

優先接種と一般接種について

質問 現在の65歳以上の高齢者の優先接種に続き、60歳から64歳の方、基礎疾患を有する方の事前の自己申告がはじまりました。

さらには、高齢者施設等従事者、この三者への接種券送付及び予約の開始が7月中旬から開始されます。

その後、一般接種に移るわけですが、12歳から59歳の予約については8月以降順次接種券を送付との事ですが、何らかの順番を設けた方がよいと思います。

一般接種に移って混乱をできるだけ避けスムーズな予約・接種できるように何か取り組みをお持ちでしょうか。

答弁 (区長) 12歳から59歳までの方への接種券については、年齢別の人口を参考にし、例えば5歳ごと、10歳ごとなど、接種状況

を見ながら一定の年齢層を設定した上で、時期をずらして接種券を送付する予定です。



合理的配慮について

質問 視覚・聴覚障害、発語障害、精神疾患などお持ちの方で、

接種希望者に対して、予約の際など事前の情報提供の充実によって、接種会場での円滑な接種に必要な手話通訳や筆談ボードなどの合理的配慮を十分に準備して頂きたいと思えます。

また、ワクチン接種券送付の際は、音声コードを記載する事も忘れないで頂きたい。

答弁（区長）集団接種会場には現在も筆談ボードを備えておりますが、接種日時に合わせて、当区の手話通訳者派遣を無料でご利用いただくことも可能であり、一般接種に向けてはこうした情報について一層の周知徹底を図っていきます。

また、次回以降は、障がいのある方を問わず、すべての対象者に向けて、点字シールのほかに、印刷物に音声コードを掲載し、適切に情報を伝えます。

福祉・健康

高齢者デジタルバイド解消事業について

質問 高齢者デジタルバイド解消に向けた事業として、スマートフォン3000台無料貸与の募集が始まりました。

我が会派が、重ねて提案をしておりますデジタル活用支援員の成り手としてS-I-S-A-P大学との連携・協力についての進捗状況を教えてください。

また、地域や町会の若い世代の方々は、欠かせない人材です。

この地域の人材を確実にデジタル活用支援員となつて頂くために、例えば、町会や諸団体からの推薦等をいただくなど、関係所管とも連携をしながら積極的な「デジタル活用支援員」の増強を提案します。

さらには、スマホで一定の行政手続きができるよう具体的な目標をもって進めていただきたいと思います。

答弁（区長）現在、募集開始に向けて、S-I-S-A-P協定を締結している区内大学への周知についても検討を進めているところです。町会等からも多く応募いただけるよう広く周知します。

議員ご提案の町会や諸団体からの推薦等につきましても、デジタル活用支援員の増強を検討してまいります。

併せて、行政手続き等、参加される方々のニーズに応じ、具体的に取り組んでまいります。



教育

タブレットを活用した教育について

質問 本年度からデジタル教科書を活用した授業が、小中各2校で研究的に始まり、それを踏まえて来年度から全小中学校で展開される予定です。

現時点でのデジタル教科書を活用した授業について実感する効果を教えてください。

答弁（教育長）デジタル教科書を活用した授業では、機能を生かして、繰り返し試行錯誤を行うことや、映像や画像教材を視聴して理解を深められるなどの効果があります。



学校トイレへの生理用品設置について

質問 世界各国で女性の月経に関する「生理の貧困」が問題となつています。この問題は日本でも無関係ではなく、オンラインアンケートによると、5人に1人の若者が金銭的な理由で生理用品を買うのに苦労した、との結果が出ており、コロナ禍で状況はさらに悪化しています。

私ども会派は5点にわたり緊急提案を行ない、必要とする児童・生徒に適切に無償提供できるように要望しました。

今回はさらに子どもたちの個々のプライバシーを守る観点から、また児童・生徒が安心して過ごせる学校の環境整備の一環として、学校のトイレに生理用品を設置することを提案します。

答弁（教育長）生活困窮者への生理用品の提供は、それを必要とする児童・生徒に確実に届くことが何より大切だと考えており、今後はトイレへの常備も含め、対応について検討してまいります。



渋谷区政へのご意見、ご要望など、なんでもお気軽にご相談ください!!

さわしま 英 隆

渋谷区議会議員

沢島ひでたか

〒150-8010 渋谷区渋谷区宇田川町1-1
渋谷区役所内渋谷区議会公明党控室

TEL. 03-3463-1036
FAX. 03-5458-4962



寄せられたご相談に
全力で対応致します!!